

事前評価シート

担当課	漁村振興課
担当名	計画担当
作成年月日	平成28年6月10日

事業名	水産環境整備事業		
箇所名	日向灘海域地区	市町村名	県下全域

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単				
事業費 (百万円)	全体事業費 650	国費 325	県費 325	その他	一般財源
事業期間	事業着手 H29	目標完成年度 H33			

総合長期計画上の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
細項目名	魅力ある農林水産業が展開される社会				
	水産資源の適切な利用管理				
	水産資源の回復と適切な利用の推進				

全体計画	日向灘沖合浮魚礁漁場の既存施設撤去及び新規設置による維持 ○表層型浮魚礁の撤去・更新 N=2基 ○中層型浮魚礁の撤去・更新 N=4基
------	--

事業目的	<p>平成6年度より本格的な整備を開始した日向灘沖合における浮魚礁漁場は、平成22年度の中層型浮魚礁9,10号の設置をもって、目標であった表層型浮魚礁5基、中層型浮魚礁10基の整備を終えた。</p> <p>浮魚礁の耐用年数は表層型・中層型ともに10年であることから、整備した浮魚礁を随時更新することが必要である。</p> <p>浮魚礁漁場は、曳縄漁業、沿岸かつお一本釣りの好漁場として活用されるとともに、表層型浮魚礁に搭載された観測機器から得られる情報(風速、水温、流向・流速等)は、出漁の可否判断や効率的な操業に不可欠な「海の天気図」の材料として使用されており、本県水産業に必要不可欠な施設となっている。</p> <p>このため、平成29年度から平成33年度までに更新時期を迎える表層型2基、中層型4基について計画的な施設更新を実施することにより、漁場の維持及び気象・海況情報の提供による沿岸漁業の振興を目的とする。</p>
------	---

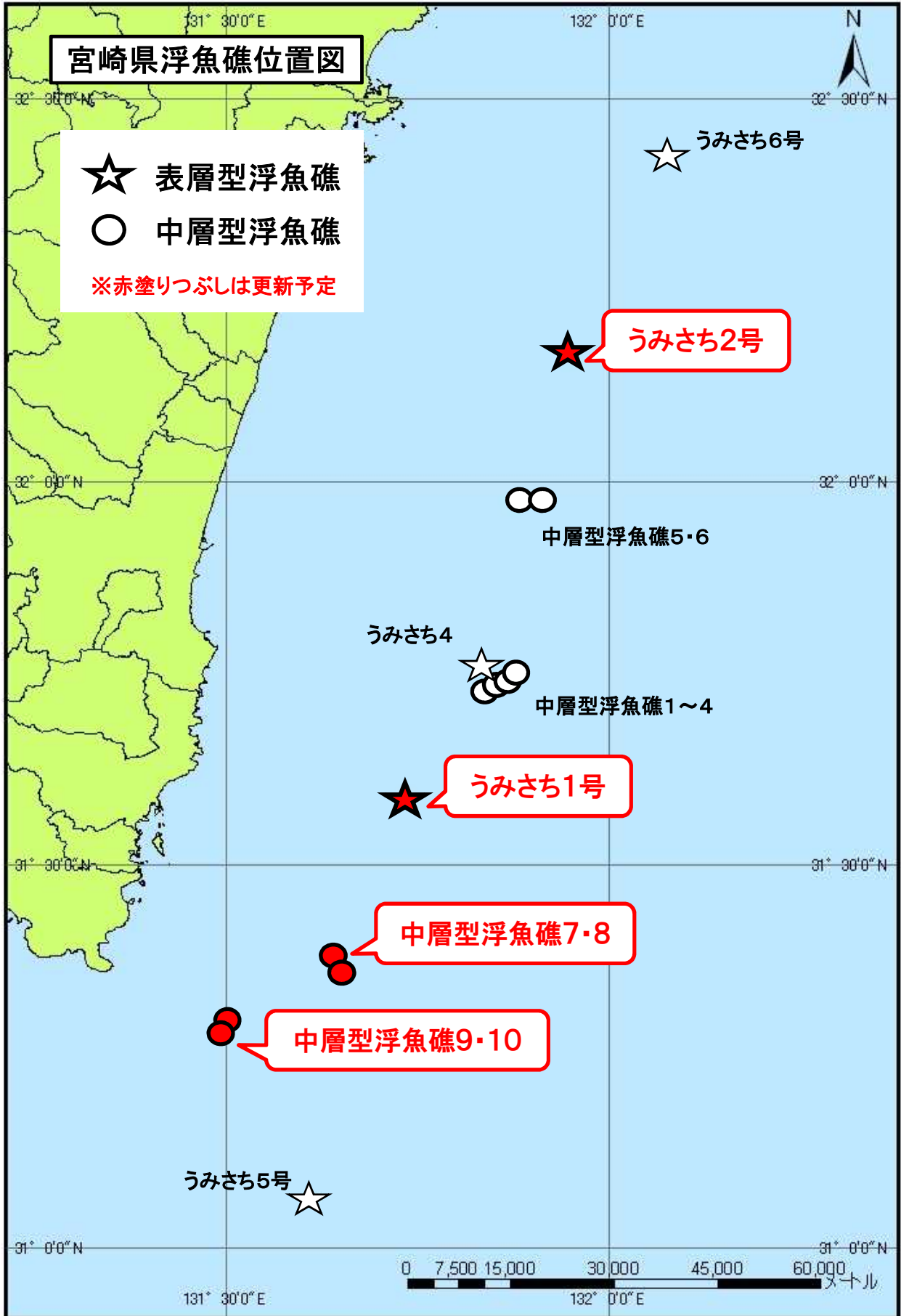
概要図	別添資料参照
-----	--------

宮崎県浮魚礁位置図

☆ 表層型浮魚礁

○ 中層型浮魚礁

※赤塗りつぶしは更新予定



事前評価シート

事業名	漁場整備事業
箇所名	

(1)事業の重要度に関する評価

評価の視点	評価項目	審査項目	判断基準	配点	評価点
成立性	①上位計画との関連性に関する事項	○各種計画への位置付けに関する事項	別表1参照	8	8
		・国の漁港漁場整備長期計画における位置付け		2	2
		・県の水産業・漁村振興長期計画における位置付け		2	2
		・県の水産基盤整備基本計画との整合性		2	2
		・市町総合計画での位置付け		2	2
成立性	②他事業との関連性に関する事項	○他事業との関連性に関する事項	別表2参照	2	2
		・他の事業、施策と関連して行う整備		2	2
	小計			10	10
必要性・有効性	③事業による効果に関する事項	○地域の状況に関する事項	別表3参照	30	24
		・受益範囲と整備効果の波及範囲		6	6
		・既存漁場の状況		6	0
		・受益戸数		6	6
		・若手もしくは高齢漁業者の割合		6	6
		・近年の漁獲量変動		6	6
		○地域水産業に与える効果に関する事項	別表4参照	30	24
		・生産労働の効率化		6	6
		・担い手育成効果		6	6
		・地域重要資源の位置付け		6	6
		・栽培漁業への寄与		6	0
		・資源管理、資源回復の取り組みへの寄与		6	6
		必要性・有効性	④環境への影響に関する事項	○環境との調和への配慮に関する事項	別表5参照
・工法、構造の環境への配慮				4	2
・自然環境の保全、創出効果				6	2
	小計			70	52
実行性	⑤地元の合意形成に関する事項	○地元の協力体制に関する事項	別表6参照	5	15
		・関係市町や国県関係部局との協力体制		5	5
		○合意形成の有無と住民参加に関する事項	別表7参照	15	10
		・事業計画への地元漁業者や住民の参加		5	5
		・地元漁業者や住民との合意形成		5	5
		・目的達成のための地元体制		5	5
	小計			20	20
合計				100	82

(2)事業効率に関する評価

評価項目	評価結果
費用対効果(B/C)	2.90

(3)総合評価

評価項目による判定結果	判定結果
重要度ランク	I
事業効率	費用対効果が1.0以上
緊急に整備を実施する箇所	